

第1学年 学力向上のための学習指導路案（算数科）

日 時 平成30年10月4日（木）第2校時
 場 所 越知小学校 1年B組教室
 対象学級 1年B組 16名
 指 導 者

1. 単元名 「たしざん」（東京書籍 1年下）

2. 単元の目標

○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え理解し、確実にできるようにするとともに、それを用いることができるようにする。

3. 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形に ついての技能	数量や図形についての 知識・理解
既習の加法計算や数の構成を基に、1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考えようとしている。	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて表現したり工夫したりすることができる。	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。	10のまとまりに着目することで、繰り上がりのある加法計算ができることを理解する。

4. 指導と評価の計画（全13時間 本時 3/13）

関：算数への関心・意欲・態度

考：数学的な考え方

技：数量や図形についての技能

知：数量や図形についての知識・理解

次	時間	学習内容	評価				
			関	考	技	知	
1	1	○1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法（加数分解）を理解する。	○				・既習の加法計算や数の構成を基に、9+4などの計算の仕方を考えようとしている。 [観察・ノート]
	2	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法（加数分解）を理解する。		○			・9+4などの計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明することができる。[ノート・発言]
2	3 本時	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。		◎		○	・8+3などの計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明することができる。 [ノート・発言] ・被加数が10のまとまりをつくれればよいことを理解している。 [ノート・発言]

	4	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。		○		・被加数が9、8の場合の加法計算が操作や言葉などを用いて説明することができる。 (ノート・発言)
	5	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加数を分解して計算する方法の理解を確実にする。		○		・加数分解による計算が確実にできる。 [ノート・発言] ◎ ・被加数が8～5の場合でも、10のまとまりをつくれればよいことを理解している。 [観察・ノート]
3	6	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、被加数を分解して計算する方法(被加数分解)があることを知り、計算の仕方についての理解を深める。		○		・被加数、加数の大小に関係なく、10のまとまりをつくることに着目して計算の仕方を考え、言葉やブロック操作などによって説明している。 [ノート・発言]
	7	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、被加数を分解して計算する方法(被加数分解)があることを知り、計算の仕方についての理解を深める。			○	◎ ・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算は、10のまとまりを作ればよいことを理解している。 [ノート・発言] ・加数分解による計算が確実にできる。 [ノート・観察]
4	8 9 10 11 12	・加法の計算能力を伸ばす。	○		◎	・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。 [観察・ノート] ・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が確実にできる。 [観察・ノート]
	13	・学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。				○ ・基本的な学習内容を身につけている。 [観察・ノート]

5. 本時の構想

(1) 目標

- ・1位数どうしの繰り上がりのある加法計算で、加法を分解して計算する方法を理解することができる。

(2) 働かせたい教科の見方・考え方

- ・被加数8の場合の加数を2といくつに分け、10のまとまりをつくって考える。

(3) 本時の評価規準


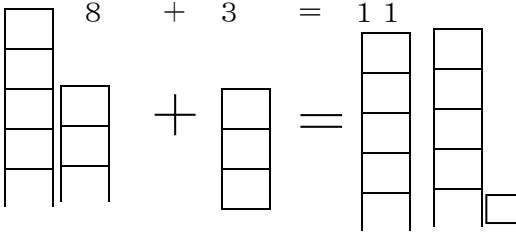
- ・8+3などの計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明することができる。(考) [ノート・発言]

(5) 展開

学習過程	学習活動	○教師の働きかけ ◇評価 (方法)
<p>導入 (2分)</p> <p>問題掲示 解決への見通し (3分)</p> <p>課題設定 (2分)</p>	<p>1. 前時の振り返りをする。 ・前時のまとめ、振り返りをペアで伝え合いましょ<u>う</u>。</p> <p>2. こどもが8にん あそんで いました。 そこに 3にん あそびに きました。 ぜんいで なんにんに なりますか。</p> <p>○気づいたことや、今までの学習とのちがいを発表しましょう。 ・9が8に4が3にかわっている。 ・昨日と同じで答えが10より大きくなりそう。 ・10のたばで考えたらできそう。 ・しきは8+3になりそうだ。 ・こたえには「にん」がつきそうだ。</p> <p>3. 本時の課題を設定する。</p>	<p>○教師の働きかけ ◇評価 (方法)</p> <p>・9+4の学習をしてきたことを振り返らせる。</p> <p>・前時の学習を基にして見通しをもたせる。</p>
<p>自力解決 (8分)</p> <p>ペア活動 (5分)</p> <p>集団解決 ・学び合い (14分)</p> <p>・考察</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>⑧ 8+3の けいさんの しかたを ず、しき、ことばを つかって せつめいしよう。</p> </div> <p>シラバス：(一人学び(8分)・ペア学び(5分)・学び合い(14分)・まとめ(3分)・適応問題(2分)・振り返り(5分) 言語わざ：「式や図を使って説明する」 学習用語：「10のまとまり」、「8はあと○で10」、「10と○で△になる」</p> <p>4. 8+3の計算の仕方を考える。 ○8+3の計算の仕方を考えましょう。 ・10のまとまりを作って考える。 ・あと2で10になる。 ・10と1を合わせたら答えが出る。 ・3を1と2にわけろ。</p> <p>5. ホワイトボードを使って自分の考えを説明する。 ○8+3の求め方を図と式を使って説明しましょう。</p> <p>6. 考えたことを説明する。 ○出てきた意見から気づいたこと、同じところやちがうところを発表して下さい。</p> <p>○くりあがりのある足し算はどのように計算すればよいか発表してください。 ・10のまとまりをつくとよい。 ・8は2をたせば10になる。 ・10とあといくつかで答えが出せる。</p>	<p>○児童の見通しを確認するために グー、チョキ、パーで意思表示を行い、児童同士で見合うようにする。</p> <p>○具体物としてブロックを利用する。</p> <p>◇8+3などの計算の仕方を考え、操作や言葉などを用いて説明することができる。 (ノート・発言)</p>

まとめ (3分)	㊟ $8 + 3$ の けいさんの しかたは 「10のまとまり」をつくって けいさんする。	
振り返り (5分)	6. 各自で本時の学習を振り返り、ノートにまとめる。 ・今日の学習で分かったこと ・友達から学んだこと	
適用問題 (2分)	7. 適用問題に取り組む $8 + 5 =$	

6. 板書計画

自力かいつ ペア学習 全体学習 考さつ まとめ ふりかえり	㊦ くりあがりのある たしざんの しかたを ず、しき、ことばをつかって せつめいしよう。	ひとり ペア とも だち		こう さつ
	㊧ こどもが8にん あそんで いました。そこに 3にん あそびに きました。ぜんいんで なんにんに なりますか。	㊨ $8 + 3$ のけいさんのしかた ① 8は あと 2で 10。 ② 3を 2と 1に わける。 ③ 8に 2を たして 10。 ④ 10と 1で 11。	㊩ 10のまとまりをつくる。 ・8は2をたせば10になる。	
言語わざ キーワード	㊪ 気づいたところ・ちがうところ ・9が8にかわっている。 ・昨日と同じで答えが10より大きくなりそう。 ・10のたばで考えたらできそう。	$8 + 3 = 11$ 	㊫ $8 + 3$ の けいさんは 10のまとまりをつくって けいさんする。	ふ